

火災・事故防止に資する防災情報提供シート

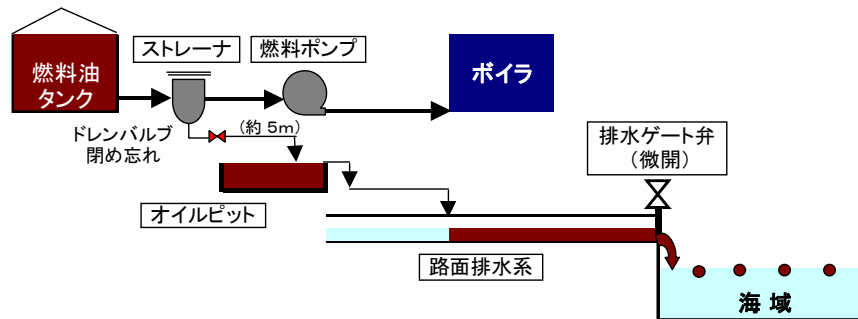
防災情報の種類：火災, 爆発, **漏洩**, その他 No. 030009040

件名：タンク附属ストレーナーからのボイラ燃料油の流出事故

【事象概要】

ボイラ燃料油を供給するポンプ前段のストレーナー清掃後、ストレーナー下部のドレンバルブを開放状態のまま燃料油の導入を再開したため、燃料油が後段のオイルピットをオーバーフローして路面排水系から、閉止不完全な排水ゲート弁を通過して海上に流出した。

※燃料油流出（約9KL、内海上へ約2KL）



【事象の原因】

① ドレンバルブ閉止の未確認

ストレーナーと下流のオイルピット間の配管閉塞により、スチーム加温でも貫通しなかったため、清掃作業方法を変更した。その時点で作業指揮者はドレンバルブ閉止を指示したが、作業者にはその認識がなかった。

また、ドレン配管はオイルピットまで延長されていたため、その流れが容易に視認できない構造となっていた。

② 排水ゲート弁の閉止不完全

路面排水系への油流入に対する認識が不十分であり、排水ゲート弁が微開状態で放置されていた。

【再発防止対策】

1. ドレンバルブ閉止の未確認対策

- ① ドレンバルブ等の“開”操作時はその場を離れず、必ず同じ操作者が閉止するという基本原則の再徹底。
- ② 閉止未確認防止対策として、バルブ札掛けの実施
- ③ ドレン配管を撤去し、ドレンバルブ+キャップ止めとした。
- ④ 変更管理の徹底。

2. 排水ゲート弁閉止不完全対策

常時閉止できるようにするため、水中ポンプでコンデンセートを汲み出せるよう設備改善した。